

施策名：マーケットインの商品(もの)づくりの加速

事業名	担当課・室名	ページ
G A P 認証農場拡大推進事業	地域農業振興課	1 / 7
T h e ・ おおいたブランド流通販売戦略推進事業	おおいたブランド推進課	1 / 7
県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業	おおいたブランド推進課	1 / 7
畜産農場HACCP等認証取得推進事業	畜産振興課	1 / 7
おおいた材プロモーション活動支援事業	林産振興室	2 / 7
しいたけ消費拡大推進事業	林産振興室	2 / 7
県産水産物流通拡大推進事業	漁業管理課	2 / 7
6次産業化サポート体制整備事業	おおいたブランド推進課	2 / 7
木造建築物等建設促進総合対策事業	林産振興室	3 / 7
間伐材等安定供給推進事業	森林整備室	3 / 7
有機農産物生産流通拡大推進事業	地域農業振興課	3 / 7
「おおいたの有機」産地づくり加速化事業	地域農業振興課	3 / 7
食品企業連携産地拡大推進事業	おおいたブランド推進課	4 / 7
活力あふれる園芸産地整備事業	園芸振興課	4 / 7
牛乳消費拡大推進事業	畜産振興課	4 / 7
県産豚「米の恵み」競争力強化対策事業	畜産振興課	4 / 7
おおいた冠地どり流通拡大対策事業	畜産振興課	5 / 7
酪農経営生産性向上対策事業	畜産技術室	5 / 7
第15回全日本ホルスタイン共進会対策事業	畜産技術室	5 / 7
草地畜産基盤整備事業	畜産技術室	5 / 7
養豚競争力強化対策事業	畜産技術室	6 / 7
林業再生県産材利用促進事業	林産振興室	6 / 7
しいたけ増産体制整備総合対策事業	林産振興室	6 / 7
森林認証材供給体制整備事業	林産振興室	6 / 7
ブリ類養殖業成長産業化推進事業	水産振興課	7 / 7
農林水産物輸出需要開拓事業	おおいたブランド推進課	7 / 7

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
1	GAP認証農場拡大推進事業 (H29 ~ R1) 地域農業振興課 マーケットから求められる農産物の安全・安心を確保するため、生産者の事業展開に応じたGAP認証取得を支援するとともに、国のガイドラインに準拠した大分県版GAPを推進する。	①JGAP指導員の育成 6,929 ②JGAP認証取得費に対する補助 1,571 ③大分県版GAP認証制度の実施 1,346 ④GAPセミナーの開催 87	JGAP指導員育成数	目標値	20	50		GAP認証農家数	目標値	181	187		A
				実績値	42	54			実績値	229	242		
			[人]	達成率	210.0%	108.0%		[戸]	達成率	126.5%	129.4%		
			GAP補助(支援)農場数	目標値	15	15		事業の成果・今後の方針 GAP指導員の育成強化や、JGAP団体認証を推進した結果、初めてこねぎの生産者が認証を取得するなど、青果物部門における認証農家数が全国第2位に躍進するとともに、ドリンク茶におけるJGAP団体認証組織(全農おおい茶GAP研究会)を立ち上げる等JGAP認証を推進した。 今後は、食品衛生法改正に伴うHACCP義務化や国内外における農産物流通の取引要件への対応等を踏まえ、より高度な認証制度に絞った推進へと転換するため、令和2年度から「GAPを活かす産地育成事業」を実施する。					
			[農場]	実績値	100	40							
GAPセミナー開催回数	目標値	1	1										
[回]	実績値	0	3										
	達成率	0.0%	300.0%										
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度										
予算	9,808	13,124											
決算	8,808	11,122											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
2	The・おおいブランド流通販売戦略推進事業 (H28 ~ R3) おおいブランド推進課 拠点市場における県産農林水産物のシェア拡大を図るため、総合的な情報発信を行うとともに、マーケットニーズに対応した販路開拓・販売促進に取り組む。	①県産農林水産物の流通販売戦略を立案推進する流通対策本部の活動、情報発信等 15,566 ②かぼすの需要拡大の活動を行う大分県カボス振興協議会に対する負担金 3,250	県外でのトップセールス回数	目標値	6	4	4	園芸戦略品目でシェア1位の拠点市場数	目標値	11	11	11	B
				実績値	7	7	-		実績値	10	-		
			[回]	達成率	116.7%	175.0%	-	[市場]	達成率	90.9%	90.9%		
			農産及び食品企業担当マーケットによる商談回数	目標値	100	100	100	事業の成果・今後の方針 園芸戦略品目14品目のうち、シェア1位となった拠点市場数はピーマン(3)、にら(2)、白ねぎ(2)、こねぎ(1)、高糖度かんしょ(1)、かぼす(1)の10市場となった。 今後は、青果物の卸売市場等への輸送拠点となる大分青果センターを軸とした農産物流通体制の整備等を図ることにより、拠点市場数への供給拡大を図っていく。					
			[回]	実績値	171	128	-						
情報発信回数	目標値	40	40	40									
[回]	実績値	41	74	-									
	達成率	102.5%	185.0%	-									
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度										
予算	21,692	24,181	18,068										
決算	20,644	23,539	-										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
3	県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業 (H30 ~ R1) おおいブランド推進課 いちご農家の所得向上を図るため、マーケットニーズに対応した県オリジナル新品種「ベリーツ」への品種転換を支援するとともに、県内外における流通拡大対策を実施する。	①県内外での各種メディアを活用した情報発信や販促活動の強化 24,423 ②モデルほ場の設置、モニタリングシステムの導入支援等 4,959	県内いちご農家に占めるベリーツ生産者数	目標値	66.7	100.0		ベリーツ作付面積	目標値	20.0	45.0		D
				実績値	73.8	65.7			実績値	7.0	12.7		
			[%]	達成率	110.6%	65.7%		[累計: ha]	達成率	35.0%	28.2%		
			ベリーツ加工品の新商品数	目標値	8	16		事業の成果・今後の方針 生産者が技術面で不安を持ち、生産者数や導入面積は目標に達していないが、PR効果による高単価販売、年内収量と果実品質の高さから期待は高まっている。 令和2年度からは「ベリーツ」ブランド確立のため、高品質・安定生産に向けた対策及びギフト・高級果実専門店などへの流通・販売対策を実施する『「ベリーツ」ブランド確立対策事業』を実施する。					
			[累計: 品]	実績値	11	18							
ベリーツのさがほのかに対する販売単価差額	目標値	140	140										
[円/kg]	実績値	209	175										
	達成率	149.3%	125.0%										
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度										
予算	26,306	30,025											
決算	25,843	29,668											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
4	畜産農場HACCP等認証取得推進事業 (H29 ~ R1) 畜産振興課 畜産物の輸出・販路拡大を図るため、畜産農場における農場HACCPやJGAP家畜・畜産物認証取得を支援する。	①指導員の育成や検査環境の整備等による農場HACCP指導体制の強化 2,730 ②研修会の開催や啓発資料作成による農場HACCP認証の取得推進 440	取組指導農家戸数	目標値	6	9		農場HACCPおよびJGAP家畜・畜産物の認証農場数	目標値	6	9		A
				実績値	6	9			実績値	9	10		
			[戸]	達成率	100.0%	100.0%		[戸]	達成率	150.0%	111.1%		
			研修会の開催回数	目標値	2	2		事業の成果・今後の方針 指導員の育成を行い、農家への指導体制を強化した結果、農場HACCP等の取得農場は目標を上回り、販売力の強化に繋がった。 県内畜産農場への農場HACCP等推進の取組などにより、当初の事業目的を達成したことから当該事業は終了し、更なる競争力強化のため、令和2年度からは「畜産GAP取得推進事業」を実施する。					
			[回]	実績値	2	1							
	達成率	100.0%	50.0%										
	目標値												
	実績値												
	達成率												
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度										
予算	3,145	3,170											
決算	2,219	2,220											

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
5	おおいた材プロモーション活動支援事業 (R1 ~ R3) 林産振興室 県産材の需要拡大を図るため、市町村と共同で「おおいた材利用促進協議会」を立ち上げるとともに、県内生産者団体が県外プレカット事業者等と連携して行う大消費地での販路拡大の取組を支援する。	①販売拠点の設置や大規模イベントの出展に対する助成 3,328 ②販売拠点の営業員等に対する県内での研修会の開催支援 886	拠点でのイベント回数 [回]	目標値		5	5	国内拠点への販売量 [m]	目標値		3,250	7,500	B
				実績値		6	-		実績値		3,197	-	
				達成率		120.0%	-		達成率		98.4%	-	
				目標値					事業の成果・今後の方針				
				実績値					販売拠点を埼玉、愛知、北九州、福岡の4箇所に設置したほか、大規模イベントの出展にかかる経費を支援した結果、国内拠点への販売量は概ね目標を達成し、県産材の県外への販路拡大の足がかりにつながった。引き続き拠点の設置及びイベント出展を支援し、県産材の需要拡大を図る。				
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				目標値					
予算		5,930	6,954	実績値				実績値					
決算		5,370	-	達成率				達成率					

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
6	しいたけ消費拡大推進事業 (H29 ~ R4) 林産振興室 しいたけの消費拡大を図るため、生産者と流通事業者等が一体となって行う、ブランド力向上や新たな消費者層の獲得に向けた取組を支援する。	①乾しいたけの新ブランド「うまみだけ」による消費拡大対策 19,977 ②京都市場に対するしいたけの出荷・流通経費への支援 6,629 ③乾しいたけの販売強化・普及PR活動 4,272	「うまみだけ」PR活動実施回数 [回]	目標値		3	3	生しいたけ京都出荷量 [t]	目標値	8.9	10.0	11.0	D
				実績値		5	-		実績値		9.2	-	
				達成率		166.7%	-		達成率		103.4%	77.0%	
				目標値					事業の成果・今後の方針				
				実績値					乾しいたけは、粉末やスライス等の新しい食べ方をPRし、消費拡大を進めた。今後は新ブランド「うまみだけ」を中心に、訴求力の強化を図る。生しいたけは、天候不順による生産量の減少に伴い出荷量も減少したが、集出荷施設の整備を進め、品質の向上により、単価は高い水準を維持した。今後は集出荷体制の改良により、生産者の作業を軽減することで出荷量の増加を図る。				
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				目標値					
予算	9,756	30,878	31,506	実績値				実績値					
決算	8,760	27,208	-	達成率		133.3%	133.3%	達成率					

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
7	県産水産物流通拡大推進事業 (H28 ~ R3) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大に向け、生産者団体が都市圏の市場等で行うかぼすブリや豊後別府湾ちりめん等を核とした販促活動を支援するとともに、「おおいた県産魚の日」を活用したPR活動により、県内消費の拡大を図る。	①都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催 8,802 ②「県産魚の日」を中心とした魚食普及活動 3,355	量販店等でのフェア開催回数 [回]	目標値	18	18	19	「おおいたの魚パートナーシップ量販店」数 [店]	目標値		10	20	A
				実績値		18	-		実績値		10	-	
				達成率	100.0%	138.9%	-		達成率		100.0%	-	
				目標値					事業の成果・今後の方針				
				実績値					大消費地において、かぼす養殖魚を核として量販店等でのフェアを開催したことにより、通年販売が見込める量販店とパートナーシップを結ぶことができた。引き続き商社と連携し販路拡大を図るとともに、県内では魚介類消費の少ない子育て世代をターゲットに魚食普及活動を行い、「おおいた県産魚」の販路拡大と消費拡大を図り、県水産関係者の経営安定化を目指す。				
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				目標値					
予算	14,399	12,157	12,097	実績値				実績値					
決算	13,714	11,978	-	達成率		107.1%	158.8%	達成率					

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
8	6次産業化サポート体制整備事業 (H29 ~ R4) おおいたブランド推進課 6次産業化の推進による農林水産業者の所得向上や雇用の増大を図るため、新商品開発・販路開拓への支援、人材育成のための研修会を実施する。	①6次産業化サポートセンターの運営委託 17,458 ②商品改良、販売促進活動への支援 1,980 ③九州・山口9県の共同実施による商談会の開催等 960	6次産業化チャレンジスクールの受講者数 [人]	目標値	20	20	20	6次産業化に係る総合化事業計画の認定件数 [件]	目標値	2	2	2	A
				実績値		23	-		実績値		4	-	
				達成率	115.0%	150.0%	-		達成率	200.0%	250.0%	-	
				目標値					事業の成果・今後の方針				
				実績値					6次産業化サポートセンター及び九州農政局大分県拠点等の関係機関と連携し、農林水産業者の6次産業化の取組に対する国の総合化事業計画の認定件数は目標を上回った。また、九州・山口各県と連携した商談会の開催等により冷凍焼き芋など県内商品の新たな販路が開拓された。引き続き、関係機関と連携して人材の育成等を行い、6次産業化の推進を図っていく。				
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				目標値					
予算	22,169	20,482	27,874	実績値				実績値					
決算	22,169	20,474	-	達成率		256.7%	171.7%	達成率					

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
9	木造建築物等建設促進総合対策事業 (H23 ~ R3) 林産振興室 県産材の需要拡大を図るため、地域材を使用した新たな商品を開発するほか、中大規模木造建築物(非住宅)の設計を担う建築士の養成を行うとともに、木材調達方法などの相談に応じる営繕担当者や建築士向けの木造化相談窓口の開設等を支援する。	①木塚の「おおいモデル」の開発 2,876 ②中大規模木造建築物の設計を行うおおうとする建築士に対する講習会の実施 1,810 ③九州各県の木材を使用した木造ビルの標準モデルの製作 1,000 ④建築士に対する木材利用アドバイザーの設置 600	研修会開催数 [回]	目標値	6	7	7	木造マイスター修了者数 [人]	目標値	29	15	15	A
				実績値	6	7	-		実績値	29	-		
				達成率	100.0%	100.0%	-		達成率	100.0%	120.0%	-	
				目標値					事業の成果・今後の方針				
				実績値					建築士に対し講習会への参加を積極的に促した結果、目標を上回る参加者となった。また、全ての科目を履修した木造マイスター研修の修了者も目標を上回る18人となり、今後の木造建築物推進に向けた体制の強化が図られた。更なる木造建築の普及を図るため、令和2年度は県産木材を利用した中低層木造モデルビルの建設に対する助成を行う。				
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				目標値					
予算	5,568	7,340	119,886	実績値				実績値					
決算	5,331	7,339	-	達成率				達成率					

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
10	間伐材等安定供給推進事業 (H18 ~) 森林整備室 持続的な林業経営体制を確立するため、認定林業事業体に管理経営を集積・集約し、搬出間伐の推進を図る。	①木材加工施設等と連携した安定供給に資する搬出間伐に対する助成 129,958	実施事業体数 [者]	目標値	13	13	13	搬出間伐面積 [ha]	目標値	950	950	1,050	D
				実績値	14	11	-		実績値	571	-		
				達成率	107.7%	84.6%	-		達成率	60.1%	62.4%	-	
				目標値					事業の成果・今後の方針				
				実績値					国の内示の減額により、搬出間伐面積は目標を下回ったものの、森林作業道を開設し、搬出間伐等の森林施業の推進を図った。今後も、森林作業道の開設と併せて搬出間伐を推進することにより、森林施業の推進と持続的な林業経営体制の確立を図る。 (H30→R1繰越額 248,447千円、R1→R2繰越額 129,958千円)				
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				目標値					
予算	248,447	129,958	444,675	実績値				実績値					
決算	0	0	-	達成率				達成率					

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
11	有機農産物生産流通拡大推進事業 (H29 ~ R1) 地域農業振興課 拡大する有機農産物のマーケットに対応するため、共同出荷体制の構築や新たな担い手の育成により、中山間地域の特性を活かした有機農産物の生産拡大と産地化を図る。	①消費者に対するPRイベントの開催支援 1,925 ②県内量販店での流通体制の整備対策 1,793 ③グループでの生産販売への取組支援 1,434	消費者へのPR回数 [累計：回] 県内量販店での有機農産物取扱い店舗数 [店] 有機農産物の生産拡大に取り組んだグループ数 [累計：グループ]	目標値	24	36		有機JAS認定ほ場面積 [ha]	目標値	340	360		C
				実績値	27	39			実績値	296			
				達成率	112.5%	108.3%			達成率	87.1%	85.0%		
				目標値	16	24			事業の成果・今後の方針				
				実績値	16	16			グループ化による共同出荷体制の構築や、オーガニックフェスタ等のPRイベントを支援した結果、野菜や茶での認定ほ場面積の増加や県内量販店への販路構築につながったが、有機JAS認定ほ場面積については、食品企業が取り扱う大麦若葉等の生産者が高齢化等に伴い減少したため、目標達成には至らなかった。生産者間の連携や県内の販路開拓を目指した本事業は今年度で終了し、今後は、「おおいの有機」産地づくり加速化事業にて、県域での有機野菜生産出荷体制の整備・運営支援や県外の販路開拓などを進めていく。				
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	10	15		目標値					
予算	6,469	5,152		実績値	8	12		実績値					
決算	6,127	4,732		達成率	80.0%	80.0%		達成率					

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
12	「おおいの有機」産地づくり加速化事業 (R1 ~ R3) 地域農業振興課 儲かる有機農業を実現するため、有機農業産地を牽引するトップランナーや有機碾茶栽培に取り組む生産者等の生産力向上に取り組むとともに、県産有機野菜等の認知度向上を図る。	①県域での有機野菜生産出荷体制及び省力化機械の整備支援 8,787 ②SNS等を活用した消費者への県産有機農産物の情報発信 4,018	産地化に取り組む経営体数 [経営体] サポーターによる情報発信回数 [回]	目標値		10	12	主要経営体の販売額 [百万円]	目標値		225	262	B	
				実績値			11		-	実績値		219		-
				達成率			110.0%		-	達成率		97.3%		-
				目標値			60		120	事業の成果・今後の方針				
				実績値			419		-	有機農業者のグループ化による共同出荷体制の構築や県内量販店等への流通体制の整備を進めた結果、有機野菜や有機碾茶の生産力強化と県域での体制整備に繋がった。				
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				目標値						
予算		12,805	24,607	実績値				実績値						
決算		11,308	-	達成率		698.3%	-	達成率						
				目標値				目標値						
				実績値				実績値						
				達成率				達成率						

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
13	食品企業連携産地拡大推進事業 (H28 ~ R4) おおいたブランド推進課 食品加工による農林水産物の付加価値額の向上を図るため、中核となる経営体の強化・育成や機械・施設整備を支援し、食品企業との産地のマッチングを強化する。	①県産品を利用する食品企業の加工施設整備等への補助 445,064 ②産地の育成・拡大を行う農業組織の機械整備等への補助 9,540 ③フードマーケットのマッチング活動経費等 2,510	加工業務用農産物の栽培拡大面積	目標値	24	24	24	食品企業ニーズに対応した生産・出荷体制の構築 [マッチング数・産地拡大数]	目標値	24	24	24	A	
				実績値	41	25	—		実績値	25	—			
				達成率	170.8%	104.2%	—	達成率	104.2%	116.7%	—			
			商品化支援件数	目標値	2	2	2	事業の成果・今後の方針 フードメーカーや各振興局の農工商連携担当者による食品企業ニーズの把握により、食品企業と産地のマッチングが進み、ほうれんそう、小松菜などの加工用業務露地野菜の産地が拡大した。引き続き、食品企業のニーズに対応した生産・出荷体制の構築を図っていくとともに、加工・貯蔵施設の整備や一次加工体制の構築を進めていく。 (翌年度繰越額 136,170千円)						
				実績値	0	5	—							
	達成率	0.0%	250.0%	—										
食品企業の意向調査数	目標値	150	150	150										
	実績値	163	150	—										
	達成率	108.7%	100.0%	—										
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度											
予算	33,835	459,209	175,481											
決算	32,863	306,504	—											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
14	活力あふれる園芸産地整備事業 (H28 ~ R2) 園芸振興課 戦略品目の産出額のさらなる向上を図るため、新規就業者による栽培施設の整備等に要する経費に対し助成する。	①戦略品目の振興のための施設整備等に対する助成 1,181,124 ②戦略品目ネクストの振興のための施設整備等に対する助成 311,461 ③一般園芸品目の振興のための施設整備等に対する助成 254,498	事業担当者会議の開催回数	目標値	4	4	4	園芸戦略品目の生産拡大面積 [ha]	目標値	28.0	45.0	63.0	A	
				実績値	4	5	—		実績値	50.2	—			
				達成率	100.0%	125.0%	—	達成率	179.3%	110.7%	—			
			新規就業者による事業活用	目標値	20	20	20	事業の成果・今後の方針 ピーマンなどの園芸戦略品目やキャベツなどの園芸戦略品目ネクスト等の栽培施設や生産基盤の整備により、認定農業者や企業参入等による規模拡大、県域産地の育成が図られた結果、園芸戦略品目の栽培面積が増加し、生産拡大に繋がった。今後も機械化一貫体系導入の推進や資産継承への支援を行い、園芸品目の生産拡大を図っていく。 (翌年度繰越額 1,298,283千円)						
				実績値	24	37	—							
	達成率	120.0%	185.0%	—										
園芸振興にかかる研修会の開催回数	目標値	2	2	2										
	実績値	3	2	—										
	達成率	150.0%	100.0%	—										
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度											
予算	1,985,337	1,754,362	2,291,997											
決算	764,105	313,127	—											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
15	牛乳消費拡大推進事業 (H28 ~ R3) 畜産振興課 酪農等に対する消費者の理解醸成と県産牛乳の消費拡大に向け、生産者と乳業メーカー等が連携して実施する酪農体験イベントなどを支援する。	①小学生を対象とした施設見学等県産牛乳理解啓発活動の経費支援 702 ②イベントや出張講座等酪農体験実施支援 615	見学受入回数	目標値	16	30	40	イベント等参加人数 [人]	目標値	3,000	5,000	6,000	B	
				実績値	16	17	—		実績値	3,575	4,620	—		
				達成率	100.0%	56.7%	—	達成率	119.2%	92.4%	—			
			酪農体験イベント回数	目標値	17	18	18	事業の成果・今後の方針 イベント等参加人数は目標を下回ったが、学校での搾乳体験や牧場受入体験により県内小中学生を中心に消費者の理解醸成が図られた。今後は、新たに作成した啓発資材(教材)を有効に活用し、より充実した啓発活動を行うことで体験開催回数及び参加人数の増加に努める。						
				実績値	17	16	—							
	達成率	100.0%	88.9%	—										
	目標値													
	実績値													
	達成率													
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度											
予算	1,189	1,566	2,045											
決算	1,189	1,514	—											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
16	県産豚「米の恵み」競争力強化対策事業 (H29 ~ R4) 畜産振興課 県内養豚農家の所得向上を図るため、統一ブランドとして立ち上げた「米の恵み」の販売促進に対し支援する。	①「米の恵み」の消費拡大のための販促資材の作成、広告・宣伝活動に対する支援 3,272 ②美味しさの指標とされるオレイン酸含有率を測定するための機器の維持管理 1,160	イベント等開催回数	目標値	10	10	10	取扱店舗数 [累計：店舗]	目標値	120	130	140	A	
				実績値	13	12	—		実績値	121	—			
				達成率	130.0%	120.0%	—	達成率	100.8%	101.5%	—			
			ブランド豚出荷頭数	目標値	100,000	100,000	110,000	事業の成果・今後の方針 年度後半の生産量が伸び悩んだ結果、出荷頭数は目標を下回ったが、販売促進活動等により、取扱店舗数は目標を上回り、販路拡大に繋がった。今後は、ブランド豚を生産していない農場にも働きかけて「米の恵み」の生産頭数を増やすとともに、高価格帯商品である「米の恵みプレミアム」の取扱量、消費量を拡大させ、生産者所得の向上を目指す。						
				実績値	95,358	99,629	—							
	達成率	95.4%	99.6%	—										
	目標値													
	実績値													
	達成率													
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度											
予算	6,275	5,163	4,038											
決算	5,666	4,437	—											

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
17	おおいた冠地どり流通拡大対策事業 (H29 ~ R4) 畜産振興課 「おおいた冠地どり」の流通拡大とブランド化を図るため、量販店や都市圏における新規販路の開拓やブランド力向上に取り組む。	①県内外への販路拡大や商談展示会出展・フェアの開催等による知名度向上に要する経費の支援 2,662	商談回数 [回]	目標値	72	72	72	出荷羽数 [千羽]	目標値	141	164	150	C
				実績値	96	74	—		実績値	129	134	—	
				達成率	133.3%	102.8%	—		達成率	91.5%	81.7%	—	
				目標値					事業の成果・今後の方針				
				実績値					冠地どりの食鳥処理場の処理能力不足や冬季産卵率の低下等による不安定な素稚供給により、出荷羽数は目標を下回ったが、74回の展示会出展やフェアへの参加により知名度は向上し、新規販路拡大に寄与した。 今後は更なる生産拡大を図るため、供給力強化に必要な施設の整備改修に対する支援を行う。				
達成率				目標値									
実績値				実績値									
達成率				達成率									
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値									
予算	3,206	3,170	3,702	実績値									
決算	2,773	2,815	—	達成率									

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
18	酪農経営生産性向上対策事業 (H29 ~ R4) 畜産技術室 国際化の進展に対応可能な生産性の高い酪農経営体制を構築するため、後継牛の能力向上や規模拡大の取組を支援する。	①優良雌牛導入経費の貸付 28,295 ②乳用牛飼料代の助成 11,500 ③省力化機器の整備や牛舎の暑熱対策等施設整備への助成 10,020 ④性別別精液費用の助成 6,920	事業推進会議の開催回数 [回]	目標値	9	9	9	平均個体乳量9,000kg以上の農家戸数 [累計：戸]	目標値	32	34	36	A
				実績値	10	11	—		実績値	36	34	—	
				達成率	111.1%	122.2%	—		達成率	112.5%	100.0%	—	
				目標値	34.0	34.0	36.0		事業の成果・今後の方針				
				実績値	36.2	35.4	—		後継牛の能力向上や暑熱期の乳量低下対策に取り組んだ結果、生産性の高い農家戸数は目標を達成し、県内農家の平均個体乳量の向上に繋がった。 引き続き、営農を続ける若い酪農家の生産性向上を図るため、令和2年度は、乳用牛ゲノム検査や既存の性別別精液に対する助成を拡充し、県下個体乳量の底上げを目指す。				
達成率	106.5%	104.1%	—	目標値									
実績値				実績値									
達成率				達成率									
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値									
予算	63,799	57,914	169,677	実績値									
決算	49,145	44,994	—	達成率									

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
19	第15回全日本ホルスタイン共進会对策事業 (R1 ~ R2) 畜産技術室 改良増殖に対する技術と意欲の向上を通じて酪農経営の安定化を図るため、令和2年10月に宮崎県で開催される第15回全日本ホルスタイン共進会の前哨戦として行われる第7回九州連合ホルスタイン共進会への出品対策を行う。	①九州連合ホルスタイン共進会出品にかかる経費に対する助成 1,626	出品のための打合わせ会議 [回]	目標値		6	6	第7回九州連合ホルスタイン共進会の出品頭数(※) [頭]	目標値		16	5	A
				実績値		6	—		実績値		17	—	
				達成率		100.0%	—		達成率		106.3%	—	
				目標値					事業の成果・今後の方針				
				実績値					第7回九州連合ホルスタイン共進会にかかる経費を助成することで出品頭数は目標を上回り、玖珠町の酪農家がグランドチャンピオンを受賞したほか、優秀な成績を収めることができた。 令和2年度は第15回全日本ホルスタイン共進会が開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から大会が中止となった。そのため、事業自体は執行を見送るが、県下酪農家の改良意欲の向上を目指し、引き続き技術指導等を行う。 (※)令和2年度：第15回全日本ホルスタイン共進会の出品頭数[頭]				
達成率				目標値									
実績値				実績値									
達成率				達成率									
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値									
予算		1,626	5,544	実績値									
決算		1,347	—	達成率									

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
20	草地畜産基盤整備事業 (H29 ~ R3) 畜産技術室 高齢化等畜産農家の減少やTPP等社会情勢の変化へ対応するため、自給率向上・低コスト生産を行う担い手に対し、公共牧場を中心とした粗飼料生産基盤の整備を支援する。	①草地造成や施設整備に対する助成 15,936	推進会議の回数 [回]	目標値	12	12	12	草地造成・整備面積 [ha]	目標値	20	29	67	A
				実績値	12	13	—		実績値	21	30	—	
				達成率	100.0%	108.3%	—		達成率	105.0%	103.4%	—	
				目標値					事業の成果・今後の方針				
				実績値					豊肥西部地区での草地造成、整備を助成したことで、目標とする草地の造成・整備面積を達成した。 令和2年度は、新たに由布玖珠地区で事業を行うことで、草地造成・整備面積の拡大に努める。				
達成率				目標値									
実績値				実績値									
達成率				達成率									
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値									
予算	22,604	15,936	50,747	実績値									
決算	21,605	15,903	—	達成率									

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価			
21	養豚競争力強化対策事業 (R1 ~ R2) 畜産技術室 中心的な経営体が行う家畜飼養管理施設等の整備を支援することで、県産豚肉の統一銘柄である「米の恵み」ブランド豚の生産拡大を図り、T P P等の関税引き下げによる輸入豚肉の増加に対応する経営を確立する。	①肥育豚舎等施設整備への補助 258,500	現地協議 [回]	目標値		3	3	「米の恵み」ブランド豚出荷頭数 [頭]	目標値		—	113,250	—			
				実績値		5	—		実績値		102,779	—				
				達成率		166.7%	—		達成率		—	—				
				区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				事業の成果・今後の方針				
				予算		258,500	258,500	実績値				令和2年度に全額を繰り越す国の令和元年度補正予算を受入れて、「米の恵み」ブランド豚の出荷頭数増加を図る事業のため、令和元年度において、目標値は設定していない。 今後は、生産者等の関係者とともに策定した計画に沿って施設整備を支援し、「米の恵み」ブランド豚の出荷頭数増加を図る。 (翌年度繰越額 258,500千円)				
決算		0	—	達成率												

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価			
22	林業再生生産材利用促進事業 (H21 ~ R3) 林産振興室 県産材の需要拡大と製品加工等の低コスト化等を図るため、木材の加工流通施設や木質バイオマス施設等の整備を支援する。	①木材加工流通施設の整備に要する経費に対する支援 559,658 ②木質バイオマス利用施設等の整備に要する経費に対する支援 12,750	乾燥機導入数 [基]	目標値		2	2	乾燥材生産量 [千㎡]	目標値		4	6	A			
				実績値		2	—		実績値		4	—				
				達成率		100.0%	—		達成率		100.0%	—				
				区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				事業の成果・今後の方針				
				予算	207,387	572,408	581,055	実績値				木材加工流通施設の整備に要する経費を補助した結果、乾燥材生産量は4千㎡と目標を達成し、高品質な製材品の生産拡大と県産材の需要拡大を図ることができた。 引き続き、加工流通施設等の整備を支援するとともに、令和2年度からは、人材を確保し生産量の増大に取り組む製材所等を支援するため、労働環境の改善に要する経費に対する助成を行う。 (翌年度繰越額 316,542千円)				
決算	113,904	255,866	—	達成率												

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価			
23	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14 ~) 林産振興室 しいたけの生産性向上と増産を図るため、生産基盤の整備に取り組む生産者への支援に加え、担い手の高齢化に対応した生産体制を構築するため、原木供給作業等の協業化に取り組む生産者を支援する。	①生産施設、機械等の導入に対する補助 38,557 ②林内作業路の整備に対する補助 8,500 ③原木供給作業の協業化に取り組む生産者を対象とした重機の操作研修会の開催 582	生産施設等整備事業実施分 原木伏込量 [㎡] 低コスト簡易作業路の開設 [m]	目標値	3,854	3,854	3,854	中核的生産者数 [人]	目標値	220	219	A				
				実績値	5,006	4,888	—		実績値	222	—					
				達成率	129.9%	126.8%	—		達成率	100.9%	100.9%		—			
				区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				事業の成果・今後の方針				
				予算	92,006	47,684	65,041	実績値	26,017	20,129	—	低コスト簡易作業路の開設やユニック車・バックホウ等の導入、散水施設や林内作業車の導入を支援した結果、原木伏せ込み量の目標を達成するとともに、中核的生産者数も目標値を上回り、しいたけ生産規模を拡大することができた。 引き続き生産規模拡大に向けた取組を支援するとともに、輸出拡大に向けた施設整備を支援することで、生産者の意欲向上を図る。 (翌年度繰越額 8,250千円)				
決算	91,467	38,800	—	達成率												

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価			
24	森林認証材供給体制整備事業 (H30 ~ R1) 林産振興室 森林認証材の提供体制を持つことを全国にPRするため、認証材を使用する方針が示されている2020東京オリンピック・パラリンピックの選手村ビレッジプラザへの木材提供に参加する。	①市町村の行う森林認証材の提供に要する経費に対する支援 2,689	木材提供市町村数 [市]	目標値	2	2	2	東京オリンピック・パラリンピック選手村への木材提供量 [㎡]	目標値	25.0	25.0	C				
				実績値	2	2	—		実績値	25.4	22.1					
				達成率	100.0%	100.0%	—		達成率	101.6%	88.4%					
				区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				事業の成果・今後の方針				
				予算	1,298	2,847	—	実績値				東京オリンピック・パラリンピック選手村への木材供給量は概ね目標を達成し、本県が森林認証材の提供体制を持つことを全国にPRすることができた。 供給を完了したことにより、当初の事業目的を概ね達成したことから、当該事業は終了する。				
決算	1,130	2,847	—	達成率												

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
25	ブリ類養殖業成長産業化推進事業 (H30 ~ R2) 水産振興課 本県の水産業の主力であるブリ類養殖業の成長産業化を推進するため、輸出拡大に向けた取組を支援する。また、生産・出荷の効率化を図るため、新たなICT技術を活用した生産性・飼料効率の向上効果試験の実証を行う。	①ICT技術の活用による生産性や飼料効率の向上効果の検証 7,486 ②ブリ人工種苗生産技術の向上 4,187	ブリ人工種苗の生産尾数 [尾]	目標値	20,000	20,000	20,000	米系量販店輸出向け養殖ブリの新規池入れ尾数 [尾]	目標値	80,000	200,000	210,000	C
				実績値	17,000	67,000	—		実績値	80,000	160,000		
				達成率	85.0%	335.0%	—		達成率	100.0%	80.0%		
				目標値					事業の成果・今後の方針				
				実績値					本事業で整備したイケース等の活用により、池入れ尾数は目標尾数を下回ったものの、発注に即応できる尾数を確保した。ブリ人工種苗生産尾数は目標を上回る67,000尾の生産となった。今後も国研究機関と連携し、安定した大量生産技術の確立に取り組んで行く。				
達成率				目標値									
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値									
予算	17,720	11,877	5,361	実績値									
決算	10,746	11,877	—	達成率									

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
26	農林水産物輸出需要開拓事業 (H28 ~) おおいたブランド推進課 海外の市場を取り込み農林水産業者の所得向上を図るため、ブランドおおいた輸出促進協議会が行う輸出拡大の取組を支援する。	①輸出拡大・定着支援に向けた、大規模商談会やフェアへの出展等 23,044 ②新たなマーケットニーズに対応した輸出拡大の取組 14,902	輸出延べ品目数 [品目]	目標値	42	45	51	農林水産物の輸出額 [億円]	目標値	24.0	31.0	37.6	C
				実績値	43	48	—		実績値	24.6	25.6		
				達成率	102.4%	106.7%	—		達成率	102.5%	82.6%		
				目標値					事業の成果・今後の方針				
				実績値					輸出額は新型コロナウイルスの影響に伴う中国向け輸出の落ち込みや北米向け養殖ブリの他産地・冷凍品との競合等により目標に達していないが、台湾向け牛肉や香港向け甘太くんの取扱量の増加等により、過去最高となった。(対前年1億円(4%)増)新型コロナ収束後に海外向けプロモーションを強化するPR動画の制作や海外商談会への出展等、輸出商流の回復及び輸出拡大に向けた取組を支援する。また、輸出に取り組む事業者を増やすため、トライアル輸出等の取組を支援する。				
達成率				海外での商談会やフェアへの出展回数 [回]	目標値	3	3	3	目標値				
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	実績値	3	3	—	達成率	100.0%	100.0%	—		
予算	37,223	37,946	40,726	達成率	100.0%	100.0%	—	ブランドおおいた輸出促進協議会の会員数 [者]	目標値	35	36	37	
決算	36,255	35,729	—	実績値	35	36	—	達成率	100.0%	100.0%	—		
				達成率	100.0%	100.0%	—						